

経営協議会の外部委員からの意見を法人運営の改善に向け審議、活用した例  
— 2017年度を取組 —

経営協議会の外部委員からいただいたご意見について、継続的に大学運営に活用しており、2017年度においては、以下の取組を実施した。

① 人材養成

(意見) 医療人のグローバル人材育成について (2017年度第1回経営協議会)

● 大学院版 HSLP 開設

将来の医療・医学におけるリーダーを養成する選抜制の少人数プログラム「HSLP (Health Sciences Leadership Program)」の大学院版である、「大学院版 HSLP (G-HSLP)」を大学院共通科目として開設し、2017年度から授業を開講した。

② 優秀な人材確保

(意見) 優秀な人材を確保するための個別の対応について (2016年度第4回経営協議会)

● クロス・アポイントメント制度

本学における教育研究活動の活性を図るため、他機関の職員としての身分を有しつつ、大学の業務を行う「クロス・アポイントメント制度」の運用を2014年度より開始している。2017年度においては新たに3名のクロス・アポイントメント協定を締結し(計5名)、特に、「再生医学」からさらに歩を進めた「創生医学」研究の第一人者である研究者を31歳で教授として招聘するなど、同制度を適用した柔軟で多様な人事制度を構築した。

③ 処遇改善

(意見) 医療技術職員等の処遇改善について (2012年度第2回経営協議会)

● 医療技術職員の昇格基準の見直し

従前では薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師以外の職種については、役職にかかわらず昇格基準は一定であり、年齢、経験年数、在級年数により基準を定めていたため、比較的新しい医療技術職については、昇格基準が役職に十分対応しておらず、相應の役職に就いても、役職に見合った待遇を受けていないといった問題があった。そこで、全ての医療技術職員について、役職に応じた級の格付けを行い、標準級以上の昇格基準については、原則として、過去の評価結果と在級年数により定めるものとした。

④ 病院運営の改善

(意見) 教育、研究及び病院の運営・品質に関する KPI の設定について

(2017年度第1回経営協議会)

● 両附属病院に係る KPI の設定

統合診療機構コアミーティング及び医療戦略会議において、さらなる経営改善のための中期的な目標として、両附属病院における KPI 指標を設定した。同指標は上記の再整備に係る基本方針を軸に設定したもので、医学部附属病院においては「高度急性期」と

「高回転」を目標としたKPIとして「9010（稼働率90%、平均在院日数10日）」を2021年までに達成することを設定し、歯学部附属病院においては診療の高度化・業務の効率化・経費の節約及び稼働額の増加等を目標としてたKPIとして「5025（稼働額50億円、歯科用チェアユニットを25%削減）」を2023年度までに達成することを設定した。

（意見） 歯科外来診療に係るコスト意識の徹底及び診療器具等の適正管理について

（2015年度第1回経営協議会）

#### ●私費診療項目の新設・見直し等

義歯装着後の再来患者に対する義歯調整等について、今までは私費再診料のみを算定していたが、義歯調整等に関する請求項目の追加及び診療内容の細分化を行った結果、従来の私費再診料の2～3倍程度である適正な診療費請求を行うことができた。既に料金を設定している項目についても、近年における補助器材の充実に伴い料金を見直すことで、より適正な算定が可能となった。これらの結果として、約561万円の増収に繋がった。

その他、経費の抑制に係る取組として、2017年1月より継続して国立大学附属病院における共同調達に参画した。2017年度においては、診療材料（5品目）の一括購入、共同交渉（4品目）を行った結果、歯学部附属病院では700万円の経費削減効果があった（医学部附属病院は730万円の削減効果）。

### ⑤ 広報活動の推進

（意見） 計画的な広報について（2017年度第3回経営協議会）

#### ●情報発信に係る取組

特色ある本学の教育・研究・医療等に関する活動についてわかりやすく国内外にアピールすることにより、諸活動の社会への還元と本学の知名度の向上に資するため、広報誌やFacebook、プレスリリース、記者懇談会等を通じて本学の特色や最新の研究成果、国際拠点の活動等を国内外に向けて積極的に情報発信している。2017年度は新たに全学教職員FD・SD研修において、プレスリリースの協力を呼びかけた結果、2017年度は83件のプレスリリース（前年度57件）を行い、2015年度比で93%増加した。

#### ●記者懇談会の拡充

メディア関係者とのより一層の関係強化を図り、本学の種々の活動や実績を広く社会に発信するため、計5回の記者懇談会を開催し、本学の優れた教育・研究・医療の取組から社会が関心を寄せるテーマを取り上げ、本学の特徴ある取組をアピールするとともに、情報交換会を通じて多くのメディア関係者との関係を強化した。

記者懇談会の内容を充実させたことにより、2017年度のメディア関係者の1回あたりの平均参加者数は36.2名となっており、前年度の33.2名と比較して9%増加したほか、取材件数が2016年度は月平均16件であったが、2017年度は21件となり、前年度比31%増加となった。